



くみあいたより

JAなんぼろ



JAなんぼろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

長ねぎ発芽自主検定開催

3月10日（木）、当JA育苗センターで長ねぎの発芽自主検定を行いました。

本年育苗された品種は「北のいぶき」等であり、2月8日より播種された長ねぎは、1ヶ月ほど経過し、約10cmの高さまで成長していました。

検定は、早朝より行われ、高島専務理事をはじめ、土井理事、長ねぎ部会の中川和芳副部長（晩翠）林郁雄副部長（晩翠西）により、細やかな確認がされました。

検定結果については、どの品種も発芽率98%と好成績であり、苗立ちも良好で、生育も順調に進んでいました。

なお、1作目の組合員への引き渡しは、3月14日（月）より行われました。



芽吹き迎春を迎える為に

3月上旬より町内各圃場で融雪剤の散布が本格的に開始されました。

融雪剤の散布は、緩い足場に強いクローラトラクターで行われていました。融雪剤の補充は、フレキシブルコンテナバックからトラクターの後ろに装備したブロードキャスターにクレーン等を活用し行われ、一度の補充作業が2分ほどで終わってしまう組合員もいました。

融雪剤散布後の圃場を空から撮影してみると、融雪剤散布圃場と非散布圃場の白と黒のコントラストやトラクターの走った跡が幾何学模



様のようになっていて、とてもきれいでした。

近年まれにみる大雪に見舞われましたが、3月下旬の積雪状況を見ると、融雪剤散布圃場で10センチ（融雪剤非散布75センチ）の地区もあり、融雪剤を散布していない圃場と比べると65センチ差の絶大な効果がありました。

もつすぐ春作業が始まりますが、農作業事故には気を付けて作業を行いましょう。

ゆめぴりか生産部会総会開催

2月18日（金）、JAなんぼろ「ゆめぴりか」生産部会では、書面にて総会を開催しました。

総会議案内で審議された内容は、賛成多数で全て承認されました。

議案

- 第1号 令和3年度事業報告について
- 第2号 令和4年度事業計画（案）について
- 第3号 令和4年産「ゆめぴりか」配分面積（案）について

- 第4号 役員改選について
- 第5号 その他





発行所
JAなんぽろ青年部
編集責任者 石川 卓也

くるるの杜で雪中野菜掘り出し体験

2月19日（土）、ホクレンくるるの杜で雪中野菜掘り出し体験が行われ、盟友4名が参加しました。

体験に参加された消費者と盟友が雪の中に貯蔵された野菜を一緒に掘り出し、掘り出された野菜を使用し簡単な調理を行いました。

調理後には、子供たちからの質問コーナーがあり「農業をしていて一番楽しいこと大変なこととはなんですか。」「好きな野菜はなんですか。」など色々な質問に盟友が答え、南幌町の農業について子供たちに伝えることができました。

青年部では、今後も町内外消費者に南幌町農業の魅力などを伝えていきたいと思っています。



業務時間の変更について

営業時間時間が下記の通り変更となりますので、ご案内いたします。

期間：4月1日～10月31日

		平 日	土 曜・日 曜
		営業時間	営業時間
本 部 事 務 所		8:30~17:00	8:30~12:00 第2・第4土曜日・日曜日・祝日休業
グリーンセンター		8:30~17:00	8:30~17:00
野 菜 関 連 施 設		8:30~17:00	8:30~12:00 野菜関連施設については第2・第4土曜日、日曜日、祝日も時期により稼働している場合があります。(野菜等集出荷センター011-378-0539)
推 進 本 部		8:30~17:00	休 業
JAバンク 共 済 窓 口	(貯金窓口)	9:00~15:00	休 業
	(融資窓口)	9:00~17:00	
	(共済窓口)	9:00~17:00	
	※11:30~12:30の間、全ての窓口業務を休止		
A	T	M	9:00~17:00 ※本部事務所ATM土日休業 ※エーコープATM土曜日のみ営業
本 部 給 油 所		7:30~19:00	7:30~19:00
エーコープなんぽろ店		9:30~20:00	9:30~20:00

長船技師による営農情報！

★令和3年の南幌町の「土」はこうなっている



今月は農作業も本格化し水稻育苗ハウスの設置や播種作業等で忙しい毎日かと思えます。

当JAで昨年実施した町内全域の土壌分析結果で特徴的な項目を抜粋したのが下のグラフです。

1 土壌分析点数の内訳

年度	水田苗床	水田	畑作	野菜	ハウス	合計
令和3年	13	353	339	37	5	747

※本年分析点数内訳 資材課分析147点、農業振興課外部委託分析600点

○水稻育苗床

- ・pHは基準値の4.5以下が多くなっています。石灰質資材を投入し基準値まで改善します。
- ・リン酸過剰なので土壌分析処方箋に基づき、単肥配合を推奨します。

○水稻本田

- ・ケイ酸は多くの圃場で基準値以下となっています。ケイ酸は耐倒伏性、病害虫抵抗性、登熟に関与し稲が最も多量に吸収する養分のため、毎年補給することが大事です。
- ・リン酸は過剰傾向なので土壌分析処方箋に基づいた肥料を推奨します。

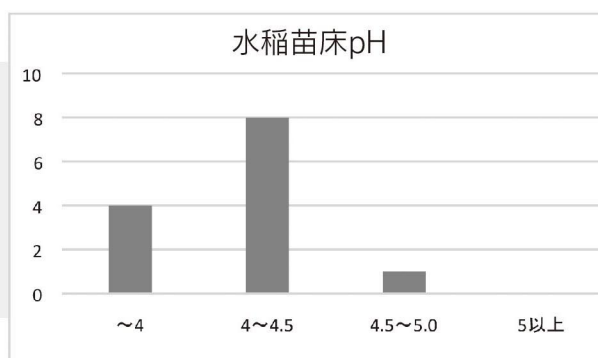
○畑作

- ・pHは基準値以下のほ場が多く、特にpH5以下の圃場が分析点数の15%を占めます。土壌分析結果に基づき石灰資材を投入し基準値まで改善します。
- ・リン酸は分析点数の25.4%が過剰になっています。リン酸過剰ほ場ではリン酸の低い肥料を推奨します。

2 土壌分析結果概要

○水稻苗床

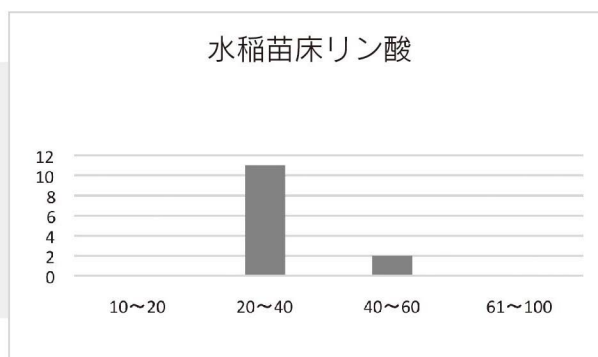
- ・分析点数 13点
- ・pH基準値4.5～5.0
- ・pHは基準値以下が多い。
- ・pH4以下が31%を占めます。



基準値:4.5～5.0

○水稻苗床リン酸(トルオーグリン酸)

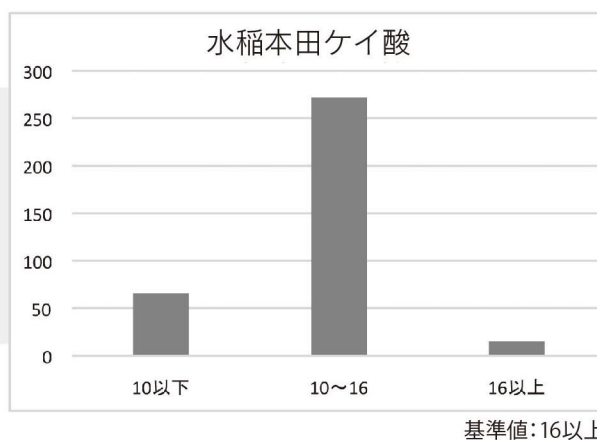
- ・分析点数 13点
- ・リン酸基準値10～20mg/100g
- ・全苗床がリン酸過剰です。



基準値:10～20

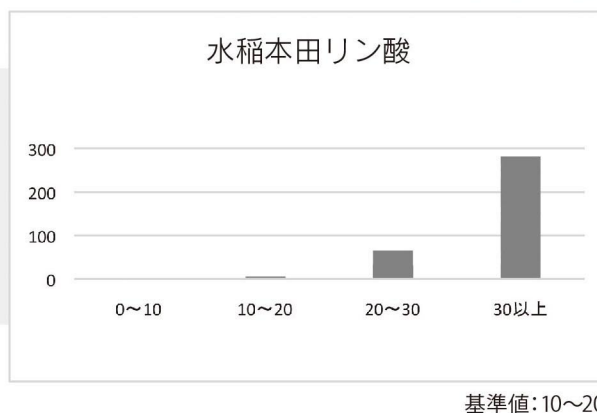
○水稲本田(可給態ケイ酸)

- ・分析点数 353点
- ・ケイ酸基準値16mg/100g以上
- ・基準値以下が多く、特に10mg以下が18.7%を占めます。



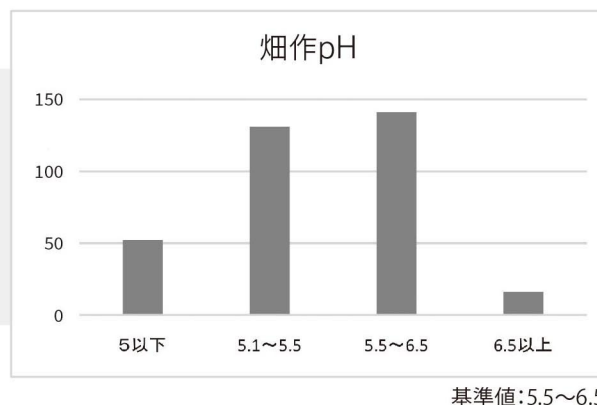
○水稲本田(ブレイリン酸)

- ・分析点数 353点
- ・リン酸基準値10~20mg/100g
- ・リン酸は過剰傾向です。
- ・特に30mg以上が79.6%を占めます。



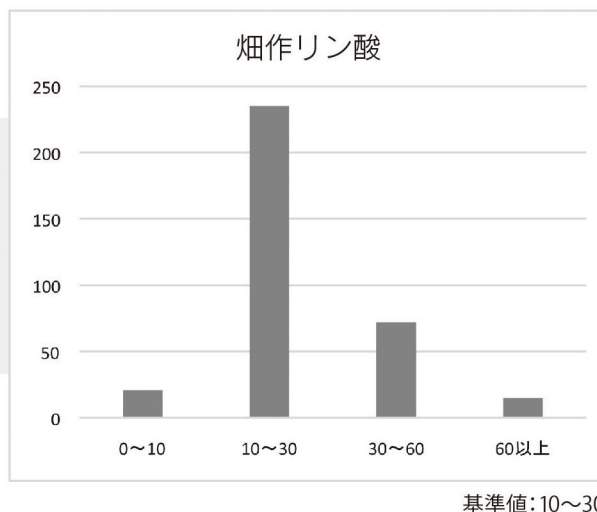
○畑作 pH

- ・分析点数 339点
- ・pH基準値5.5~6.5
- ・pH基準値以下が53.6%
- ・特にpH5以下が15%を占めます。



○畑作 リン酸(トルオーグリン酸)

- ・分析点数 339点
- ・リン酸基準値10~30mg/100g
- ・リン酸基準値以上が25.4%で過剰



・JAでは土壌分析結果に基づきほ場ごとに処方箋を作成し施肥銘柄、施用量、金額を示しています。土壌分析結果を活用し生産性向上と低コスト生産を目指しましょう。

「小麦の安定収量を目指した学習活動」

南幌町4Hクラブプロジェクト活動報告

表2 小麦栽培概要

氏名	品種名	は種日	は種量 (10a)	条間	基肥窒素量 (10a)
A	きたほなみ	9月24日	10.0kg	22.0cm	4.0kg
B	きたほなみ	9月22日	7.0kg	30.0cm	2.8kg
C	きたほなみ	9月25日	8.0kg	12.5cm	6.0kg
D	きたほなみ	9月28日	9.7kg	12.0cm	5.6kg
E	きたほなみ	9月25日	8.5kg	17.0cm	4.0kg
F	きたほなみ	9月24日	9.0kg	12.5cm	5.0kg
G	きたほなみ	9月23日	7.0kg	12.5cm	4.0kg
H	ゆめちから	9月30日	15.0kg	12.5cm	6.0kg
I	ゆめちから	9月23日	9.0kg	30.0cm	4.2kg

表1 令和3年度小麦プロジェクト活動内容

月日	活動内容
4月5日	起生期調査(茎数)・現地研修
5月1日	幼形期調査(茎数、草丈、幼穂長)・現地研修
5月26日	止葉期調査(茎数、草丈、葉色)・現地研修
6月10日	出穂期調査(茎数、草丈)
7月14日	成熟期調査(穂数、稈長、穂長)・現地研修
8月4日	収量調査(脱穀、子実重、千粒重)
11月20日	R4年産越冬前調査(草丈、葉数、茎数)・現地研修
11月～12月	小麦プロジェクトのまとめ



生育調査のようす

茎数の推移は2タイプある
山型→起生期は適正で、その後は一度増える
下り坂型→起生期が多く、後は減るだけ

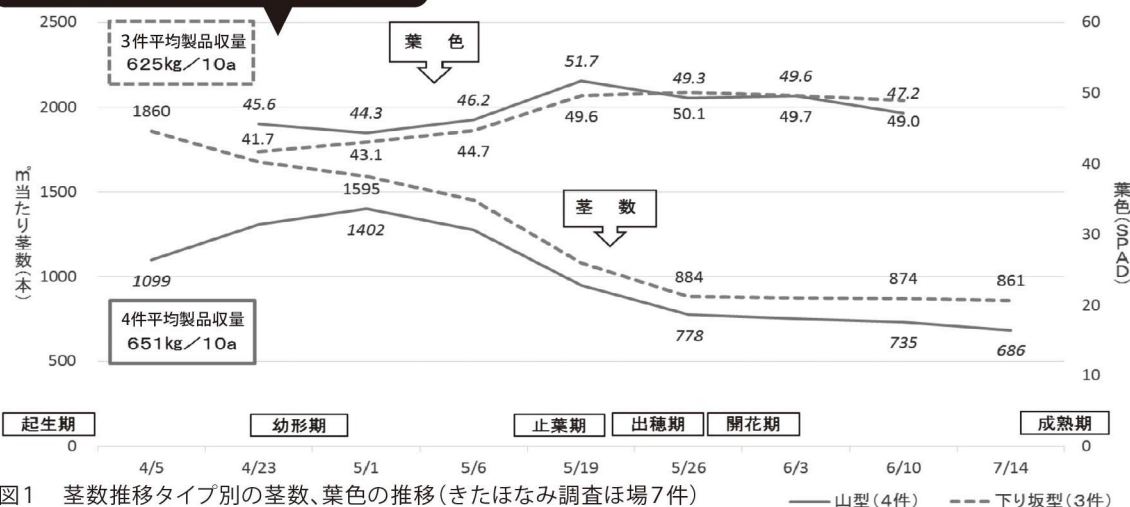


図1 茎数推移タイプ別の茎数、葉色の推移 (きたほなみ調査ほ場7件)

山型では最多茎数(平均)は1400本程度、穂数(平均)は700本程度となり、おおむね良好な推移となりました。下り坂型では最多茎数(平均)は1900本程度と多くありましたが、幼穂形成期頃の葉色が薄めであることからわかるように追肥を抑え気味にしたことで、穂数(平均)は850本程度に収まりました。その結果、調査ほ場の製品収量(平均)は山型、下り坂型ともほぼ同量となりました。

起生期の茎数調査では「1500本以下のほぼ適正なほ場」と「2000本近くの多いほ場」があり、その後の茎数の推移から2つのタイプ(山型、下り坂型)に分類し、茎数の推移や葉色の変化、平均収量をまとめました(図1)。

令和3年度産秋まき小麦では、「m当たりの穂数を600～800本程度」を目標に、越冬後の茎数にあわせた窒素追肥を実践しました。

多くのクラブ員が栽培を任されている小麦は、学習意欲と収量向上への意識が高く、継続してプロジェクト活動に取り組んでいます(表1)。



南幌町4Hクラブ
令和3年度会長
山田 悠介

表3 クラブ員個々の追肥、茎数、穂数、収量およびクラブ員のコメント（きたほなみ調査ほ場7件）

茎数の推移が山型のほ場（幼形期頃に最大茎数）

氏名	追肥窒素量(kg/10a)				茎数・穂数(本/㎡)			製品収量 (kg/10a)	歩留まり (%)	クラブ員のコメント
	起生期	幼形期	止葉期	出穂期	起生期	幼形期	成熟期			
A	6.0	※9.0			641	1040	509	547	94.3	施肥量は極端に変えてはいないが、倒伏は昨年よりも少なかった。
B	6.0	4.0	4.0	2.0	1287	1650	780	618	87.8	起生期追肥量を減らし、生育後半の追肥を増やした。最終穂数は目標値くらいに落ち着いた。赤さび病で歩留まりを下げた。次年度産のは種量を減らす。
C		15.0		6.0	1496	1794	920	760	99.5	起生期の追肥をやめ、幼形期追肥を多くしたところ予想外に茎数が増えたが、その後の追肥を遅らせたので、茎数はいくらか落ち着いた。葉色が薄めであった。
E	4.0 4.0	5.2	5.0		971	1135	535	681	97.3	越冬後の茎数は丁度良いと思い、少しずつ窒素を効かす追肥を行った。幼形期の茎数の増え方も良かった。

※印は緩効性肥料

茎数の推移が下り坂型のほ場（起生期頃に最大茎数）

氏名	追肥窒素量(kg/10a)				茎数・穂数(本/㎡)			製品収量 (kg/10a)	歩留まり (%)	クラブ員のコメント
	起生期	幼形期	止葉期	出穂期	起生期	幼形期	成熟期			
D	※9.0		6.0		1900	1728	716	704	94.4	昨年と同様に起生期追肥を遅らせた。更に緩効性肥料を用い、幼形期追肥を省いたが、幼形期追肥を行ったほ場と収量差はなかった。
F	4.2	10.0			1832	1712	1040	521	85.9	起生期の追肥量は昨年の半分以下とした。その後、葉色が薄めのため幼形期の追肥量は昨年同様とした。昨年より収量は増加したが、追肥以外にも要因はあると思う。
G	4.0	6.0	6.0		1848	1344	828	649	94.6	は種日を遅らせて、起生期の追肥を1週間程遅らせたことで、茎数管理が上手くいった。枯れ上がりがあったので、次期作は後半の追肥量を増やしてみる。

※印は緩効性肥料

表4 赤さび病薬剤散布実績（きたほなみ）

氏名	散布月日	薬剤名	散布水量 (ℓ/10a)
A	6月2日	イントレックス	100
B	5月26日	チルト	60
C	5月26日	イントレックス	100
D	5月24日	イントレックス	30
E	6月10日	イントレックス	100
F	6月7日	シルバキュア	100
G	5月23日	イントレックス	100

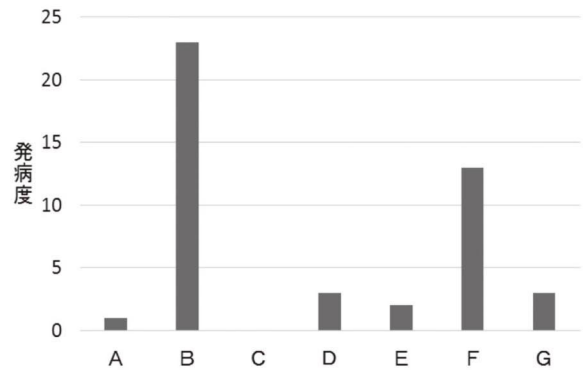


図2 止葉の赤さび病発病度（きたほなみ）

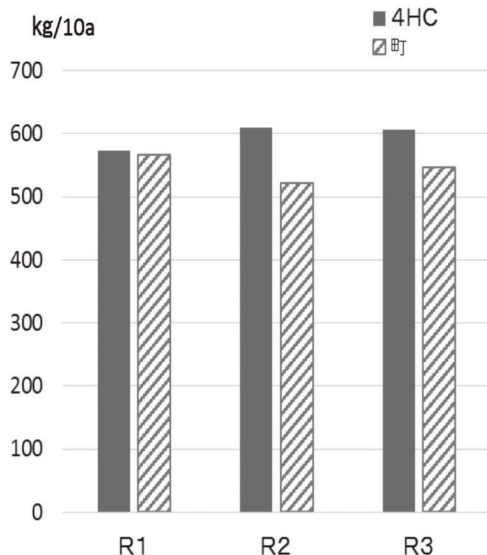


図3 製品収量の推移（全品種実収量）

クラブ員個々では、起生期の追肥量を茎数が適正な場合は6 kg程度、多い場合は4 kg程度に抑えており、全体に幼穂形成期以降の追肥に重点を置いているクラブ員が多くなっています。また、個々のコメントにあるように「安定収量の確保」に向けて小麦をよく観察し、よく考えて作った一年になりました（表3）。

令和3年産は赤さび病が多い年でしたが、発病が多いと歩留まりが低下することもありました（表3、図2）。また、散布時期、散布農薬、散布水量が適正であると発病がかなり少なくなることもわかりました（表4、図2）。

学習活動を継続し、仲間との情報や意見交換を出来たことで、年々技術が向上し、収量も安定してきていると思います（図3）。ただ、まだ疑問点や改善点もあり、次年度もクラブ員全員で、さらに研鑽していきたいと思っています。

理事会報告

3月16日

3月定例理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議案】

- 1、令和3年度事業報告、貸借対照表、損益計算書および注記表の承認について
- 2、役員を選任について
- 3、第74回通常総会提出議案（総会参考書類）の追加について
- 4、役員退職慰労金の支給について
- 5、総合農協監督指針の改正に伴う「3つの方針」への対応について
- 6、総会議決権行使書面の取扱いについて
- 7、大口貸付について
- 8、不良債権の処理方針について
- 9、行政庁に提出する業務報告書について

【報告事項】

- 1、第2回営農振興組合長会議開催結果について
- 2、令和4年度春の経営懇談会の開催内容について
- 3、要領の改正について
- 4、令和3年度委託調製大豆概算金支払および仮渡金返還について
- 5、令和3年度委託調製なたね精算および仮渡金返還について
- 6、令和3年度産てん菜本精算および仮渡金返還について
- 7、南幌町米麦改良協会JA出荷および良質米麦出荷表彰について
- 8、2月末農産物の保管状況について
- 9、2月期JAローンの貸付について
- 10、会計監査人の決算監査における監査報告書について
- 11、内部監査の実施報告について
- 12、2月末財務状況について

春作業へ向けて相談会開催

2月28日（月）3月1日（火）の2日間、当JA3階大会議室で令和4年施肥設計相談会を開催しました。

相談会では、空知農業改良普及センター空知南西部支所と当JA資材課技師らが相談員となり、水稻・畑作・蔬菜の3ブラスに分かれ令和4年産農作物の施肥について個別相談を受けていました。また、農作物によっては、土壌分析をもとに施肥設計を行っている場面もありました。

2日間の開催で、組合員皆さんにご来場いただき盛況のうちに相談会を終えることができました。

～表紙の紹介～

◎今月号は、鈴木幸光さん（川向）に表紙を飾っていただきました。



私達のJA

令和4年2月末日現在

組合員 (前年同期比)	2,702名 ▲34名
正組合員 (前年同期比)	447名 ▲7名
准組合員 (前年同期比)	2,255名 ▲27名
正組合員戸数 (前年同期比)	281戸 ▲4戸

編集後記

別れの3月出会いの4月とよく言いますが、JAなんぼろでの新たな仲間との出会いと言つと・・・今年ありませんでした。

来年こそは、脱最年少職員をしたいと思います。

follow me!
Instagram
はじめました!!



@jananporo_official

JAなんぼろ公式Instagram
できました!フォロー・いいね!よろしくお願ひします♪

発行 JAなんぼろ 〒069-0293 空知郡南幌町栄町1丁目4番7号

TEL 011-378-2221(代表)、011-378-2274(直通) FAX 011-378-0846 発行日 令和4年4月1日

企画・編集 営農部農業振興課 印刷 (株)トリムシステム

ホームページ <http://www.ja-nanporo.or.jp> メールアドレス koho@ja-nanporo.or.jp